

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1996
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.69, No.2 (1996. 2) ,p.9- 10
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	宮澤浩一教授退職記念号
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19960228-0009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

序	山田辰雄	五
mediationの在り方について	石川明	二
神戸寅次郎「契約解除論」再考	内池慶四郎	二七
——私の研究ノートⅢ——		
建物の区分所有における専有部分の敷地利用権	新田敏	四
株主総会をめぐる法的紛争の誘因	加藤修	六
訴訟終了宣言と我が国の判例	坂原正夫	八
死刑代替論について	加藤久雄	二二
中世イタリア都市社会における「正義」のイメージ	森征一	二五
——A・ロレンツェッティ作『善政のアレゴリー』を中心として——		
一八世紀・プロイセン抵当権諸立法中の強制抵当権制度	斎藤和夫	二九
——裁判上債権者の法的地位の劣位化——		

参審制度について(統).....	平良木登規男... 三六
量刑理論の体系化のための賞書.....	井田 良... 三三
インドネシアにおける検察官の捜査権.....	太田達也... 三九
——新検察庁法成立過程における議論を中心として——	
二二世紀に向けての日本の被害者対策論.....	諸澤英道... 三九
——わが国の被害者実態調査および諸外国の現状認識を踏まえて——	
犯罪統制と個人による犯罪被害防止活動.....	富田信穂... 三六
社会的コントロール理論の有効性に関する比較実証研究.....	谷岡一郎... 四〇
——自己申告方式による非行調査における日米の地域社会特性の差異について——	
フランス不能犯論の歴史の変遷.....	末道康之... 四五
<hr/>	
CRIMINAL POLICY IN JAPAN : A CASE STUDY OF AUM SHINRIKYO.....	Schura EULLER-COOK... 五六
.....	
宮澤浩一教授略歴・主要業績.....	四七